

平成 27 年 3 月 30 日

森町長 村松藤雄 様

公立森町病院経営改革プラン評価委員会  
委員長 高橋 泰

### 森町病院事業経営改革プラン評価委員会意見書

森町病院事業経営改革プラン評価委員会において協議した結果について、以下のとおり意見書として提出する。

#### 森町病院事業第 3 次経営改革プラン(案)について

第 3 次経営改革プラン(案)の方向は妥当であると考えます。ただし、今後公表される地域医療構想の検討及びこれに基づく取組との整合性も考慮しつつ、以下の点について、経営改革プランの中で積極的に取り組んでいただきたい。

##### ○ 回復期リハビリテーション病棟の在り方

来期以降、袋井、掛川両市に回復期リハビリテーション病棟が開設されることにより、袋井市及び掛川市在住の患者の当院入院は減少傾向になると予想される。また、森町在住の患者は高齢化が進んでいるため、6 単位以上/日の積極的リハビリテーションの減少も予想される。

そのため、回復期リハビリテーション病棟を地域包括ケア病棟に転換するという意見もあるが、当院が先行して築いた基盤を維持し、町民の期待に応えるためにも当面現状を維持すべきであり、住民、医療機関向けの広報活動をしっかりやって、影響を小さくする努力が必要である。

なお、回復期リハビリテーション病棟の今後の在り方については、来期以降の患者動向の推移状況により、著しい病床利用率の低下等があった場合には改めて病棟再編の検討を行っていただきたい。

##### ○ 地域包括ケア病床の拡大

地域医療構想において、地域包括ケア病床(17 床)への期待が高まること予想され、地域包括ケアシステムの構築に向けて少なくとも 24~28 床に増床すべきである。さらに、患者動向によっては病床を病棟に拡大し、急性期病棟の看護配置を厚くして 7 対 1 入院基本料の算定により増収を狙うことも視野に入れておくべきである。

##### ○ 病床機能に係る分析・検証

地域包括ケア病床の患者に行っている診療行為(入院単価を出来高換算して入院基本料を除いた部分)を分析して、入院患者が急性期、回復期または慢性期であるか検証していくべきである。

##### ○ 地域連携の推進

町内診療所からの紹介が他の地域の病診連携より少ない印象がある。今後、更に町内の診療所との連携強化策を検討する必要がある。

○ 住民の理解と職員の確保

森町病院は地域住民から信頼を寄せられているが、更に病院機能に対する理解と納得を得る努力をするとともに、医療従事者の適切な勤務環境を確保する事で医療スタッフを確保することが重要である。

○ 委託業務見直し

コスト管理の一環として常に委託業務を見直すことが重要である。例えば外来の科別受付を行っていることは、同規模病院と比較しても特異である。委託料削減のためにも外来患者数減少を契機に早急に見直すべきである。

森町病院事業経営改革プラン評価委員会開催概要

【日 時】 第1回 平成 27 年 2 月 8 日(日)午後 4 時 00 分～午後 6 時 00 分  
第2回 平成 27 年 3 月 22 日(日)午後 2 時 00 分～午後 4 時 30 分

【場 所】 公立森町病院 会議室

【協議事項】 森町病院事業第 3 次経営改革プラン(案)について

【出席委員名簿】(五十音順：敬称略)

名前	役職等
川崎 義人	ホームメイション(株)代表取締役
安間 剛	西部保健所長
小林利彦	浜松医科大学医学部附属病院 医療福祉支援センター長
高橋 泰	国際医療福祉大学大学院 医療経営管理分野教授
中村 昌樹	公立森町病院長
山岡 泰治	浜松医科大学 地域医療学講座特任教授